

秋田大学医学部附属病院
総合臨床教育研修センター長 殿

誓 約 書

私は、当該シミュレータにおける認定単独利用者として、シミュレーション教育センター利用時の注意点を十分認識し、その使用にあたっては利用要領を遵守します。

万一、設備・備品の破損・損失や事故があった場合、速やかに届け出、故意または重大な過失による場合等においては、自己責任において損害を弁償いたします。

令和 年 月 日

所 属

※学生：学科

職 名

氏 名

事務使用欄

☐ DB登録

☐ MTG資料入力

処理日： / /

2025.05 改訂

認定者氏名	機 器 名	専門医	研修医	医学生	看護師	看護学生	薬剤師	工学技士	検査技師	医療職者	事務職員
	人工心肺装置HAS II	○						○			
	ALSシミュレータ	○	※	※	○	※	○	○	○	○	※
	SimMan ALS	○	※	※	○	※	○	○	○	○	※
	フィジカルアセスメントモデル フィジコ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	腹腔鏡トレーニングボックス エンドワークプロⅡ	○	○	○							
	内視鏡シミュレータ AccuTouch	○	○								
	胸腔ドレナージ・胸腔穿刺シミュレータ	○	○								
	内視鏡ビデオスコープシステム EVIS LUCERA	○	○								
	上部消化管内視鏡トレーニングモデル	○	○								
	内視鏡トレーニングモデルⅡ	○	○								
	GI-BRONCH Mentor	○	○								
	出産シミュレータ SIMone	○	○		○						
	子宮鏡ハンズオントレーニングシミュレータHystSim ／経尿道的前立腺切除術シミュレータTURPSim	○	○								
	血管インターベンションシミュレーショントレイナー VIST	○	○								
	乳児・幼児の手背静脈注射シミュレータ	○	○	○	○	○					
	静脈採血注射モデル I型	○	○	○	○	○			○		
	注射シミュレータ 腕自慢	○	○	○	○	○					
	装着式採血静注練習キット かんたんくん	○	○	○	○	○			○		
	点滴静注シミュレータ Vライン	○	○	○	○	○					
	新CVC穿刺挿入シミュレータ	○	○	○							
	末梢挿入中心静脈カテーテル PICCシミュレータ	○	○								
	腰椎・硬膜下穿刺シミュレータ ルンバールくんⅡ	○	○	○							
	超音波診断ファントム ABDFAN	○	○	○					○		
	超音波診断ファントム FAST/ER FAN	○	○	○					○		
	超音波診断ファントム ECHOZY	○	○	○					○		
	小児超音波診断ファントム 腹部外傷・急性病変モデル	○	○	○					○		
	汎用超音波画像診断装置 NanoMaxx	○	○	○					○		
	超音波画像診断装置 ARIETTA60(65)	○	○	○					○		
	超音波画像診断装置 Nemio XG	○	○	○					○		
	心臓・腹部超音波検査トレーニングシミュレータ VIMEDIX	○	○	○					○		
	超音波検査用バーチャルトレーニングシミュレーター U/S Mentor	○	○	○					○		
	レサシアンシミュレータ	○	※	※	○	※	○	○	○	○	※
	高性能患者シミュレータ SimMan3G	○	※	※	○	※	○	○	○	○	※
	小児患者シミュレータ SimJunior	○	※	※	○	※	○	○	○	○	※
	高性能乳児医療トレーニングシミュレータ SimBaby	○	※	※	○	※	○	○	○	○	※
	呼吸音聴診シミュレータ ラングⅡ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	AEDトレーナ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	AEDトレーナ3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	リトルアントレーニンシステム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	リトルアンQCPR	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	DAMシミュレータ トレーニングモデル MW13	○	○	○	○	○	○	○			
	DAMシミュレータ デモンストレーションモデル MW14	○	○	○	○	○	○	○			
	乳児気道管理トレーナ／新生児気道管理トレーナ	○	○	○	○	○		○			
	CPR人形ブライデン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	超音波検査トレーニングシステム Sono Sim	○	○						○		
	マルチスタイル画像システム NV-Light	○	○	○							

※ 資格取得には、「入門コース受講 + セミナーの手伝い(1回) + インストラクターと一緒にセミナーを開催(1回)」することが必要